

写真展のご案内

— 下村兼史 生誕115周年 —

100年前に カワセミを撮った男・写真展



カワセミ 1922年1月5日 佐賀県佐賀市 撮影：下村兼史 所蔵：(公財)山階鳥類研究所

開催期間 | 2018年9月21日[金] - 9月26日[水]

開場時間 | 11:00 - 19:00 [最終日16時まで] **入場無料**

会場 | 有楽町朝日ギャラリー [JR有楽町駅前マリオン11F]

主催 | 公益財団法人 山階鳥類研究所 [〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115]

公益財団法人 山階鳥類研究所は2018年9月21日(金)から26日(水)まで有楽町朝日ギャラリーにて野鳥生態写真の先駆者・下村兼史の展覧会「下村兼史 生誕115周年ー 100年前にカワセミを撮った男・写真展」を開催いたします。下村兼史に関する本格的な展覧会は本展が初となります。

およそ100年前、日本で初めて野鳥の撮影に成功した男がいました。その名は下村兼史(1903-1967)。下村は日本における野鳥を主とした生物写真の先駆者であり、日本最初の野鳥生態写真家と呼べる人物です。野生生物を写真で記録する者の少なかった1920年代から30年代、下村は、北は北千島から南は奄美大島、小笠原諸島を歴訪し、里山、離島、原野など、今日では変貌がいちじるしい自然環境と、自然にあるがままの野生生物の姿をフィルムにとどめました。過酷な撮影条件のもと、扱いづらい機材を用いて生み出された下村の写真は、時に詩情にあふれ、時に科学者の眼を感じさせます。中でも、研ぎ澄まされた美意識と感性でとらえられた野鳥の写真は、下村の卓越した撮影技術と芸術的センスの賜物であり、その端正な美しさを備えた作品群は、今も色褪せることはありません。下村の活動は写真以外にも、鳥類図鑑や紀行エッセーの執筆、自然科学ドキュメンタリー映画の制作など多岐にわたり、様々な分野を通じて野鳥や自然への関心を一般に広めました。また、これらの仕事は日本の野鳥生態写真史の黎明期において多くの同輩、後進に影響を与え、野外鳥類学の研究発展にも大きく貢献しました。

本展では、山階鳥類研究所が所蔵する下村兼史に関する1万点を超える写真資料の中から、貴重なオリジナル・プリントや鳥類図鑑の原画など、本邦初公開の写真作品や資料約50点を展示いたします。当研究所所蔵の写真作品や資料は、下村の没後、遺族により寄贈され、2005年度から2008年度にかけて整理保存作業が行われました。時代の変遷とともに下村は一部の人々にのみ知られる存在となってしまいましたが、本展では氏の生涯と功績についても紹介し、人間・下村兼史の魅力に迫ります。下村自身の手によるオリジナル・プリントからは、自然に生きるものの生命について、そして写真表現の価値や可能性について、現代に生きる私たちに多くのものを語りかけてくることでしょう。本展が地球上の自然や鳥類への関心を深めるきっかけになれば幸いです。

この写真展事業は、公益財団法人朝日新聞文化財団の助成を受けて実施されます。

また、下村兼史作品・資料の整理保存作業の一部は、文部科学省科学研究費補助金(特定奨励費)を受けて実施されました。



下村兼史 | しもむら・けんじ (1903-1967) プロフィール

1903年、佐賀県佐賀市水ヶ江町に生まれる。本名・兼二。後に兼史と改名。1920年、慶応義塾大学文学部予科に入学。翌年、病気のため中退し帰郷。1922年、日本の野鳥生態写真の嚆矢となるカワセミを撮る。1928年、鹿児島県荒崎の鶴類の写真集一冊が天皇陛下へ献上される。1930-1939年、農林省鳥獣調査室に勤務。日本全国各地を歴訪し、主に天然記念物の鳥や希少種などを撮影。1935年、英国での万国自然写真博覧会に出展した作品が国際的な評価を受ける。1939年以降は映画界に転身し、監督、演出・脚本家として活躍。傍ら野鳥観察紀行、鳥類図鑑などを多数執筆。1967年、生物記録映画や鳥学への永年の貢献が評価され、第22回毎日映画コンクールにおいて特別賞を受賞。同年4月27日に逝去。享年64。

展覧会名： 下村兼史 生誕115周年 - 100年前にカワセミを撮った男・写真展

開催期間： 2018年9月21日(金) - 26日(水)

開催時間： 11:00 - 19:00 (最終日は16時まで) 会期中無休

展示作品点数： 写真作品 約50点(予定)

会場： 有楽町朝日ギャラリー

東京都千代田区有楽町2丁目5-1 有楽町マリオン11F

電話 03-3284-0131 Fax 03-3213-4386

URL <https://www.asahi-hall.jp/yurakucho/access/>

入場料： 無料

主催： 公益財団法人 山階鳥類研究所

後援： 朝日新聞社、一般財団法人日本カメラ財団、全日本写真連盟、日本写真芸術学会、日本鳥学会、公益財団法人日本鳥類保護連盟、公益財団法人日本自然保護協会、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン、環境省、文部科学省

顧問： 倉本 聡 (脚本家)

飯沢耕太郎 (写真評論家)

嶋田 忠 (野生生物映像作家・写真家)

協賛・協力： 株式会社システムファイブ、有限会社バード・フォト・アーカイブス

制作： フォトクラシック

写真展実行委員会： 委員長：山岸 哲 (公財) 山階鳥類研究所名誉顧問・理事、兵庫県立コウノトリの郷公園園長

副委員長：小林隆成 (公財) 山階鳥類研究所理事、羽黒山大聖寺住職

事務局長：塚本洋三 (公財) 山階鳥類研究所特任研究員、(有) バード・フォト・アーカイブス取締役

委員：吉田 成 東京工芸大学芸術学部教授

平岡 考 (公財) 山階鳥類研究所広報コミュニケーションディレクター・自然誌研究室専門員

展示予定の作品



カワセミ
1922年1月5日 佐賀県佐賀市
撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所



ナベヅルの降下飛翔
1928年1月25日 鹿児島県荒崎
撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所



フクロウの幼鳥
1929-1931年
富士山麓須走 撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所



ジョウビタキ
1930年頃 九州
撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所



巣穴に飛び込むルリカケス
1935年4月20日
鹿児島県奄美大島
撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所



手の上のジュウイチの雛に給餌するオオリ
1929-1931年 富士山麓須走
撮影：下村兼史
所蔵：(公財)山階鳥類研究所

本展に関するお問い合わせ先

※デジタルデータが必要な場合も下記にお問い合わせください

下村兼史生誕115周年
100年前にカワセミを撮った男・写真展
実行委員会事務局 担当：塚本

Tel&Fax 03-3866-6763

E-mail tsukamoto@yamashina.or.jp